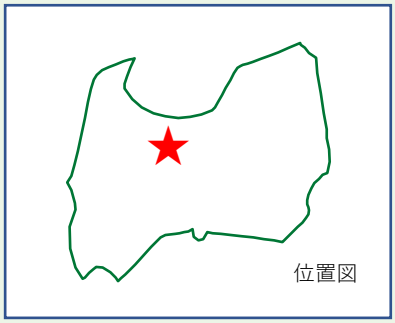
呉羽梨産地活性化委員会（富山県富山市、射水市（呉羽梨栽培地域））

構成員：JAなのはな呉羽梨選果場、県富山・高岡農林振興センター、富山市、射水市、JAなのはな

背景・課題

当該地域は、富山県を代表する大型選果場を中心とした大規模日本なし産地である。近年、暖冬による発芽不良障害や開花期の凍霜害による結実不良から出荷量が著しく減少するなど激しい気候変動が生産に大きく影響を及ぼしており、安定生産技術の早期確立・普及が強く求められている。


位置図

みどり戦略実現に向けて

当産地では秋冬季に基肥として窒素施用を行っているが、冬期間の窒素流亡が懸念されることや発芽不良を助長している事例が散見されている。そのため、発芽不良障害対策として基肥施用時期を秋冬季から春季へ変更し、施用後の流亡減少・効率の良い養分吸収を通じた化学肥料使用量の低減を検証する。

また、ICT気温モニタリング装置を活用した防霜対策の実施により、作業時間削減を検証する。

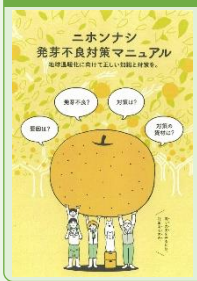
環境負荷軽減の取組

〇化学肥料の使用量低減（現在の栽培体系からの更なる削減）

検討するグリーンな栽培体系

①化学肥料の使用量低減：春季の基肥施用
②省力化：ICT気温モニタリング装置を活用した防霜対策による作業時間削減

①春季の基肥施用



農研機構の開発技術を実証

② ICT気温モニタリング装置の活用による防霜対策

温湿度センサー

受信機

問い合わせ先

富山県富山農林振興センター　TEL076－444－4523